

平成27年度第1回意見交換会 議事要旨
(中学生と教育委員との意見交換会)

1 日 時

平成27年7月24日(金) 12:30～13:30

2 会 場

千葉市議会棟3階 第2委員会室

3 出席者

- ・中学生参加者 16人
- ・教育委員参加者 5人(和田委員長、内山委員、明石委員、小西委員、志村教育長)

4 意見交換テーマ

「千葉市(主に教育に関する事)をもっと良くしていくために、何が必要だと思いますか。
また、そのために自分に何ができると思いますか。」

5 会議経過

(1) 開会

(2) 教育委員長挨拶

(3) 意見概要(教育委員の発言者は次のように表記。和田委員長「委員長」、内山委員「内山委」、明石委員「明石委」、小西委員「小西委」、志村教育長「教育長」)

学校の授業の電子化などについて

[生徒]授業に電子書籍を取り入れることや、電子機器にふれる機会を増やしてはどうですか？

[明石委]現在、文科省では教科書の電子化について検討しています。生徒全員が機器を使えないと問題もあるので、小学校時からスキルアップを図るなど、検討が必要な大きな課題です。

[教育長]考えるべきことは、「機械そのものを勉強すること」と「機械を通してもっと学び方を便利にしていく」という2つあります。学校では機械の勉強はしていると思いますが、パソコンなどの技術的变化が速すぎて、教科書や学校で教えることが、現実としてついていけていません。

[生徒]授業は、デスクトップが多いですが、なるべくノートパソコンを勉強したほうが良いと思います。教科書を作る人も、追いつかないのは仕方ないので徐々にやっていけば良いと思います。電子書籍にして自分たちで打ち込んで教科書を作れば速く進むし、デスクトップの中身を最初から学び直せると思います。

[教育長]現在、電子黒板は各学校に1台ずつ入っています。緑町中学校や轟町小学校には、試験的にクラスに1台入れています。電子黒板は、書くものでなく教材を見せたりするために、かなり使われていると思います。

歴史の授業の進め方について

[生徒]歴史の教科書が年表通りに進んでいないので、途中で分からなくなってしまいます。

どうして教科書は、年表通りになっていないのですか？

[教育長]歴史の勉強は、いろいろな分野に分かれおり、それを学んでいくためには、年表の順番から離れなければならないこともあります。中学校の歴史の教科書は、学ぶ分野ごとに勉強していくようになっています。学び方を考えた上では、いろいろな分野をまとめて学んだ方が考えやすいようになっており、年表通りではない編集になっています。

就業や職場体験について（キャリア教育）

[生徒]勉強をすれば良い仕事に就けるという話を聞きますが、前にそれを覆すような本を読みました。勉強しても、良い仕事に就けるわけではないので、小学校で仕事の勉強もすべきだと書いてありました。千葉市でも、もっと仕事について教えてみてはどうですか？

[委員長]良い仕事っていうのは何だと思えますか？

[生徒]自分のやりたいことができる仕事やお金がしっかり稼げる仕事だと思います。

[明石委]下村大臣も言っていますが、今の小学6年生が、大学を卒業する頃に残っている職業は、4割しかありません。10年後は、いろいろな職業がなくなる場合があり、どんな職業が出てきても対応できることを千葉市では考えています。非常に社会のテンポが速いので、机だけの勉強では駄目で、いろいろな人の意見を良く聞くことや、柔軟な考えを持つなどの力がないと10年後の新しい職業にはついていけないと思います。

[委員長]小学校でも、職場体験をしてみてもという意見ですね。中学校では、各学校で設定し3日間などの期間で、どこかの職場に行ってみると思います。

[生徒]職場体験した感想ですが、普段自分では気づかないところで、様々なことをしていることが分かり、簡単な仕事は絶対ないことが分かりました。

[委員長]職場体験をして、仕事に対する意識が、人それぞれ持てたのではないかと思います。

[生徒]仕事をするは大変でも、それはプラスになって自分に返ってくると思いますし、マイナスではないと思います。

[教育長]3日が短いという意見もありましたが、それ以上にすると、その間の授業ができず、勉強が遅れてしまうと心配する子もいます。また、受け入れる会社にとっても、負担になります。受け入れてくれる会社が、充実してくると1週間行くことも可能になると思います。

[明石委]兵庫県の中学校では、15年くらい前から職場体験を1週間行っています。1週間やるとすごく成果があり、仕事の楽しさや辛さ、人間関係が経験できます。また、一番効果があるのが、不登校気味の生徒たちが3割学校に復帰することです。ですから、授業の遅れの問題もありますが、自信のない生徒たちが自信を深めてくというデータがあるので、千葉市でもやりたいと思っています。

[生徒]職場体験には、市の仕事や公務員の仕事とかはありますか？

[教育長]あります。例えば、科学館は受け入れています。また、幼稚園や保育所でも受け入れています。自分が経験したい職場の希望が通れば一番良いと思います。

[内山委]将来何をやりたいか、それぞれ目指すものがあると思います。職場体験は、将来のためのほんの一部です。たくさん経験するのも大切ですが、基本的には勉強が必要だと思います。

[小西委]仕事は、子どもの頃にイメージしていたものと違うので、実際にその仕事をしている生の話を聞くことが一番いいと思います。ぜひ、自分でも探して話を聞ける機会を見つけてほしいと思います。勉強をやらないと良い仕事に就けないというのは正しいと思います。そのために勉強は基本的なことです。努力することや想像すること、考えることで知らないうちに力がつき、実際に社会に出た時に、いろいろ勉強していて良かったと実感する日が必ず来るので、今やっている勉強が無駄になることはありません。

[生徒]将来就きたい仕事は、サラリーマンなどのデスクワークを望む人が多いと思いますが、一方で農家の方など生産側の方が、すごく減っています。学校でも、進路相談の際に生産をする側の仕事も勧めしてほしいです。

[委員長]すごく大事なことを教えていただいたと思います。日本では、第1次産業の就業者が減っています。千葉市では、工業高校とものづくりに関してプロジェクトを進めており、将来の子どもたちの進路として選択できるよう検討しています。とても先見の明があるなと思いましたが、将来どんな職業に就きたいと思っていますか？

[生徒]将来はスクールカウンセラーになりたいです。

[委員長]ぜひ、千葉市のスクールカウンセラーになっていただきたいです。

[生徒]こども議会で、千葉市の史跡が目立たないこと取り上げました。職場体験などでお手伝いができるようにしたら、PRできてもっと周知されると思います。もったいないと思います。

[明石委]兵庫県では、史跡を残すため清掃などの職場体験を中学生が1週間やっています。高校では、1週間ボランティアでやっています。千葉市でも、職場体験とボランティアをミックスしてもいいですね。

地域の防災訓練などについて

[生徒]学校の掲示板上に地域の防災訓練の張り紙を見ますが、みんな自分から参加しようとはしていません。先生方にどんどん呼び掛けをしてもらいたいです。

[明石委]中学生は地元の学校に通っているため、災害発生時は、地域の方を助けることができます。そのために、防災訓練をしっかり行い、率先して助けていただくことを期待しています。

[生徒]中学生は、たくさんいるのに災害時に働かないのはもったいないです。災害が起きた時に、各避難場所に支援物資を運んだりする係や、家が倒壊した瓦礫の撤去を手伝う係など、いくつかのグループを作っておくといいと思います。

[教育長]学校でも AED の使い方を勉強すると思います。災害時には、中学生に地域を助ける役目を担ってほしいと思い、現在、命を守る教育を進めています。ですから、AED の使い方を、もっと学んでいただきたいです。

[委員長]墨田区では、中学生が特別な委員会活動として、災害が起きた時に救助などの簡単な資格を取り、いざという時に自分たちで活動できることを何年も前からしています。ですから、皆さんも待っているだけではなく、自分の学校の中だけでも良いので、何人かのグループ

を集め、いざという時に地域のために役に立つ活動を提案していただきたいです。

[内山委]私は、緑町中学校区に住んでいますが、9月1日に地域防災訓練を中学校で行います。これは授業の日ですから、全員出ると思います。ぜひ、皆さんも参加してください。

学校で学ぶ資格について

[生徒]学校で資格について学ぶことが少ないです。どんな種類の資格があるのかも分からないので、将来のために必要な資格についてもう少し学びたいです。

[委員長]中学生の時から、将来の職業に繋がるような資格などを学ぶことは大事だと思います。

学校環境などについて

[生徒]教室の環境についてですが、今、教室の温度計測を行っており、毎日のように30度を超え、具合悪くなる人がたくさんいます。扇風機が1～2台しかなく、それで具合が悪くなり授業を受けられない人がいますが、どう思われますか？

[委員長]エアコンが必要という意見ですね。議会でも、前から話が出ていますし、要望が多いことは分かっています。ですが全体の予算が限られている中、市としてはまず、学校が大きな地震がきても崩れないように、耐震工事を一番にしました。今年度中には、すべての補強などが終わります。次に、お手洗いを和式のトイレから、洋式にするよう進めています。エアコンに関しては、この後もやらないことはありません。エアコンは、暑い時期の間で、夏休みを除けば1ヶ月半くらいのを考えると、どうしてもまだ行き渡らない状況です。

[教育長]今年は、まず音楽室にエアコンをつけています。その理由は、夏場は窓を開けて演奏していると、近所迷惑になってしまうからです。次に比較的身体の弱い人たちが多い特別支援教室です。また、千葉市の中学校給食は、給食センターから配られますが、川崎や横浜には給食がありません。中学校の義務教育の間は給食を実施することを千葉市の方針としています。限られたお金で、何を優先するべきかを考えて進めています。今回、提案いただいたことは大事なことだと思っていますので、参考にさせていただきます。

[生徒]エアコンの関係ですが、エアコン以外にも、例えばグリーンカーテンとかで暑さの対策はできると思います。

[生徒]エアコンをつけるのが難しいということでしたが、私が小学生の時、ウォータークーラー（冷水器）がありました。それを中学校にも設置してほしいと思いました。

[生徒]ちょっとした意見ですが、学校の工事の時や、近くの図書館とかで勉強をしてはいけないって言われたことがあり、身近に勉強がしやすい場所があまりないので、そういった場所があったらいいなと思いました。

英語の学習について

[生徒]英語の学習で、授業中などでスピーチをする時、単語すら読めない人も多いため、もう少し英語の学習を増やしてほしいと思います。

(4) 閉会